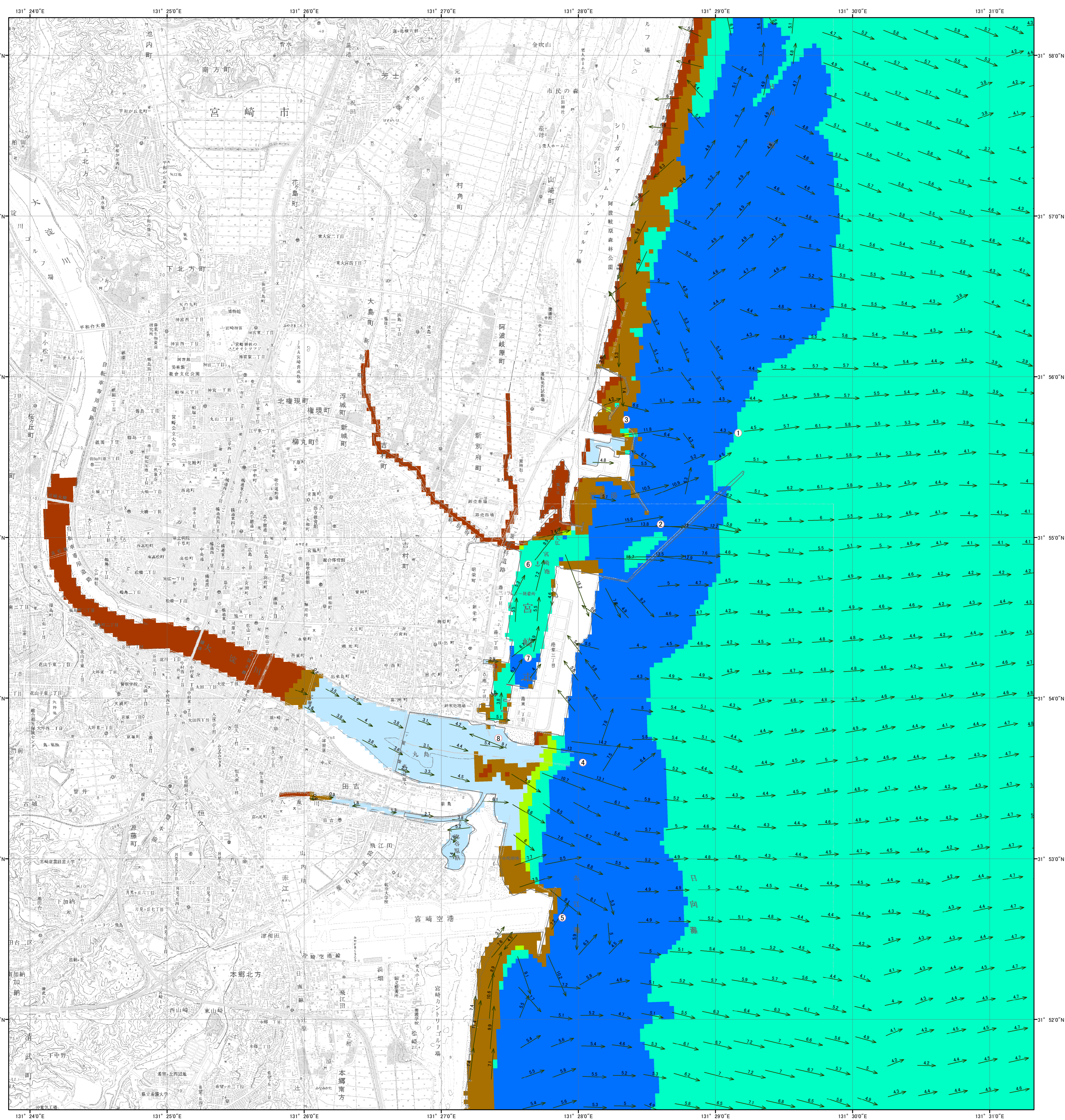


# 宮崎港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件: 最低水面(零位)  
 隆起量: 平均 -87cm(-93cm ~ -73cm)  
 Zo: 1.13m  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



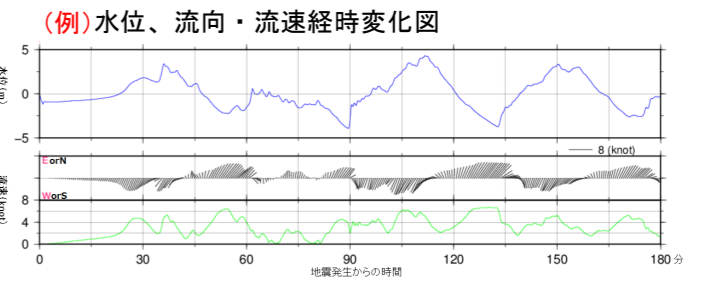
座標系: メルカトル図法  
 測地系: 世界測地系 (WGS84)



## 凡例

- 最大水位低下
- 5~最大7.9m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域

経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

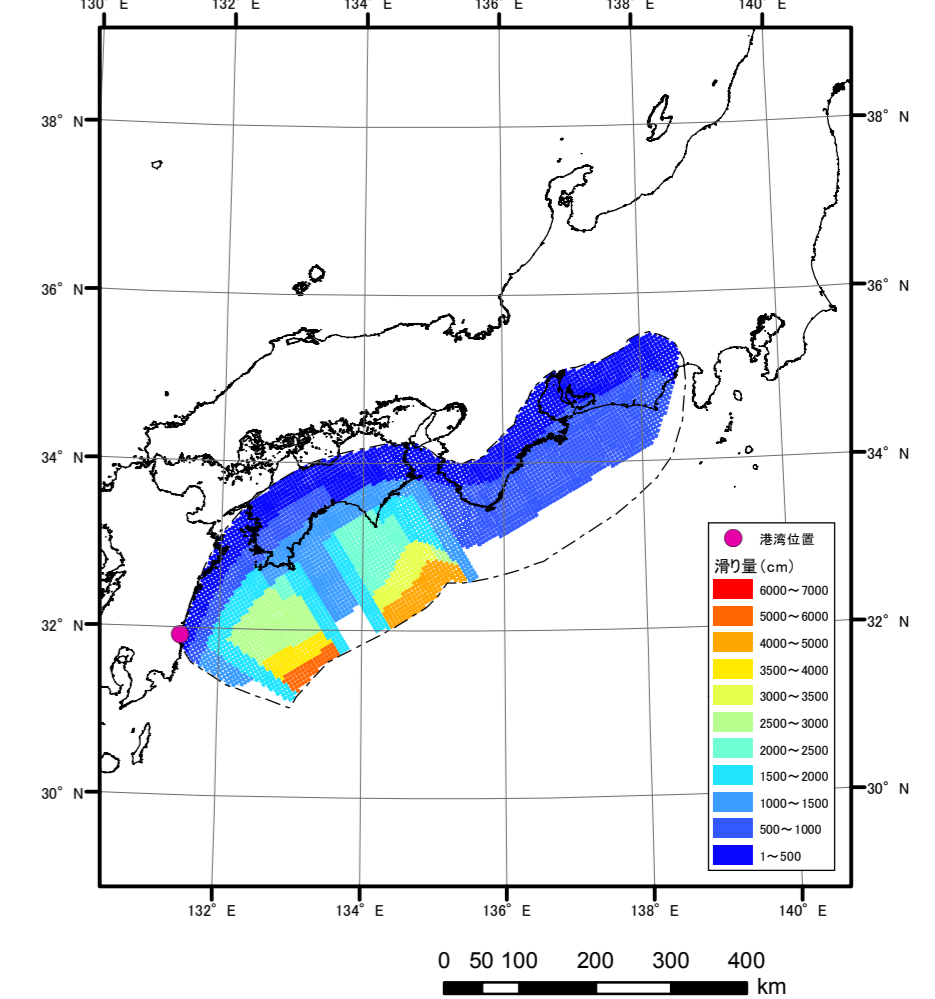


## 引潮時最大流 (knot)

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

## 断層モデル



ケース①「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.6 X 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	11.2
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)・及び数値地図25000(地図画像)(国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

